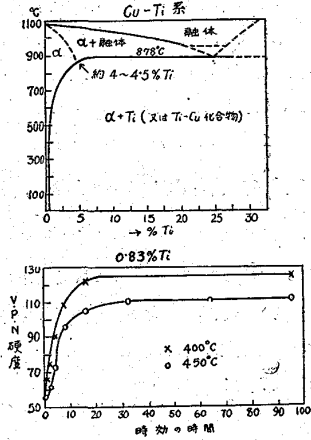


に達した後、時間の増加と共に漸減する。2.58% Ti 合金の 300°C 及び 350°C で時効せる結果は次表の如くである。

| 時効の時間 | V. P. N. 硬度 | |
|------------|-------------|-------|
| | 300°C | 350°C |
| 950°C より急冷 | 106 | 106 |
| 1 | 115 | 133 |
| 3 | 156 | 176 |
| 5 | 165 | 188 |
| 8 | 158 | 207 |
| 10 | 169 | 208 |
| 30 | 177 | 211 |
| 100 | 189 | 225 |



附圖は 0.83% Ti 合金の一例である。

電導度はチタニウム量大なる程減少し、Cu=100 とすれば

0.83% Ti=17.37%、2.74% Ti=7.48%、4.74% Ti=4.53%
これを 400°C 16 時間時効の結果は、夫々 21.5%、19.6%、19.7% の如く略一定する。

Ti の少量の添加は抗張力を高め、時効の結果は更に増大する。比例限、降伏點は約 1,000% を増加する。構造用材としては充分なる性質を具備する。(前田)

テミル = タウ及テリベス鑛山採鑛開始

(昭和 6 年 11 月 12 日附在ノヴオシ
ビルスク中村領事館事務代理報告)

クズネツク冶金工場は 1931 年 10 月革命 記念日を期し 2 箇の熔鑛爐の作業を開始したが、1 日 1,500 噸の鑛鐵を製産すべく、更に他の 2 箇の熔鑛爐完成せば、之と併せ鑛鐵年産 120 萬噸を出すべし、尙鋼鐵は 145 萬噸、鐵製品は 113 萬噸 (内軌條 7,000km) を製産する豫定なり。原鑛はクズネツク南方のテリベス及テミル = タウ兩鑛山より供給せらるゝ處、1931 年 11 月 6 日朝前記兩鑛山は稼行を開始し、同時にクズネツク工場に最初の鑛石を發送せり、1931 年度中に兩鑛山よりクズネツク工場に鐵鑛 20 萬噸を輸送の筈。

以上兩鑛山の準備工事に關し、テリベス鐵鑛區管理局の報告する所次の如し。

テミル = タウ鑛山 クズネツク冶金工場を距る 100km、山嶽谿谷に圍繞せらるゝ人跡未到のシベリア森林地帯に、クズネツク工場の原鑛根據地創設工事に着手せられたるは 1930 年 7 月のことなり。

過去 15 ケ月間必須の生活條件と技術的設備の不備に堪へ、テリベス鐵鑛區の黨産業及職業機關は 10 月革命第 14 周年の次の如き成果を以て迎へたり。

テミル = タウ鑛山に於ては長さ 862m の坑道を作る、内 477m は本坑道たる水平坑道なり、尙二坑の開鑿を終りたり、即ち壁坑 76m、斜坑 104m 之なり。鐵層を露出の爲め 37,000m³ 土壤及岩層を掘上げ、鑛體より泥炭を除外するに際し鑛石 2,000 萬噸を採掘す、鑛山に壓縮空氣及電力を供給する爲めに 240 馬力の假電力所を設く鍛冶工場、鑛孔器修繕工場、挽材工場及 1 ケ月の生産高 10 萬箇の煉瓦工場の建設現在作業し居れり、12,500m² の共同住宅及文化 = 生活造營物を建設せり、鑛山作業用通氣管 17.50m³ 及坑内水道 750m を敷設す、鑛山の技術的必要に應ずる爲め 4 萬m³ の容量を有する坑道堰を築く、鑛

石を鐵道貨車に積載する爲の棧橋組立を終る、クズネツク中央發電所より給電する變壓所建設準備を一齊に進捗す。

以上の工事進捗の結果、テミル = タウ鑛山は稼行を開始し、1931 年の 11 月 1 日以降晝夜 1,000 噸の鑛石を採掘し居るが、漸次擴張して 1932 年には 1 ケ年採掘量を 60 萬噸に、1933 年には 125 萬噸となす筈なり。

テリベス鑛山 本鑛山に於ては採鑛準備開鑿として 500m 以上を開掘す、(内本坑道は 146m 及 2 箇の斜坑は深さ合計 123m) 坑道底部鑛石積取バンカー (bunker) 下部凹を作る爲、岩層 3,600m³ 掘鑿す、沖積土及岩層切開に 3,000m³、テリベス鑛山より選鑛所に至る延長 7km の鑛道の土、石、木工を完成す、實面積 11,000m² の住宅及公共建物落成す、鑛山及建築工事に用 195 馬力の動力所建設され、鑛山に壓縮空氣及電力を供給し居る外機械工場、鑛孔器修繕鑛冶工場、挽材工場、全鑛區の建物内設備、指物細工用に充てられたる機械設備を有する木工場等夫々建設され、現に操業中なり、クズネツク中央發電所よりの給電用變壓所建設準備工事は目下進捗中、前記竣工の結果、既にテリベス鑛山は一晝夜 1,000 噸、年採掘高を 300,000 噸の鑛石を出し得。

ムンドウイバシ選鑛工場建設の準備工事は進展し、住宅及文化生活施設建物實面積 7,800m² を建築せり、シベリア第一の 110,000 ワットの變電所は竣工し内部の裝備に取掛れり、曩に 21km に亘る鐵道路盤敷設の爲、土工及開鑿の大工事を終へたるが、10 月革命第 14 周紀念日に軌條敷設を完成したるを以て、クズネツク工場作業開始迄に鑛石を運搬し得べし。

以上の諸工事の結果としてテリベス鐵鑛區はクズネツク冶金工場に 1931 年に 200,000 噸、1932 年 850,000 噸、1933 年に於ては當初採鑛計畫の 780,000 噸に代ふるに 1,550,000 噸を供給し得べし、計畫は迎向産業財政計畫として改案増大されたるなり。